

# 醒泉・淳風統合校開校準備協議会からのお知らせ

平成27年7月発行 第1号

## 第1回 醒泉・淳風統合校 開校準備協議会を開催

6月1日、醒泉小ふれあいサロンで、第1回目の醒泉・淳風統合校開校準備協議会を開催しました。

この協議会は、昨年9月から両校の統合に向けての協議・検討のために会合を重ねていた校下4学区(郁文・淳風・醒泉・尚徳)の代表、両校及び楊梅幼稚園のPTA代表、学校長で構成されており、4月21日の統合要望書提出を区切りに、改めて組織化されたものです。協議会の代表は、醒泉小・淳風小両校に児童が通学している郁文学区の中島自治連合会長にお願いすることになりました。

協議会では、まず教育委員会から開校に向けた作業スケジュールの説明等を受け、「統合校開校までの2年足らずで校名選定や通学安全をはじめとした様々な課題を検討するには、各課題ごとに作業部会を作るなど、効率の良い協議のための組織づくりが必要」との意見が出されるなど、熱心な協議がなされました。また、新校名については、公募を前提に、その条件等を作業部会で検討することになりました。

今後も様々な検討課題が山積しています。教育委員会との連携のもと、より良い学校づくりに向かって取り組んでいきますので、ご協力いただきますよう、よろしく申し上げます。



## 教育委員会に統合要望書を提出

新聞やニュース等でも既にご承知のとおり、4月21日に京都市役所4階の教育委員会に地元・PTA代表が出向き、在田教育長に「統合要望書」を提出しました。在田教育長からは「次代を担う子どもたちのために、学校統合という非常に大きな御英断をいただいたことに心から感謝申し上げます。皆様方の御要望を厳粛に受け止め、実現に向けて全力で取り組む。」との挨拶がありました。

主要要望事項は次のとおりです。

- ❑ 29年度を目途に2小学校を統合し、新校名で新しい学校を創設すること。
- ❑ 新校舎は醒泉小敷地に建築し、32年度当初を目途に移転すること。
- ❑ 新しい学校では、この地域ならではの伝統と文化を受け継ぎつつ、全国に誇りうる先導的な教育構想を策定し、輝く未来を切り拓く子どもの育成に尽力すること。
- ❑ 新校舎建築工事中の仮校舎として元格致小を改修して使用し、淳風小施設も第二教育施設として活用すること。
- ❑ 開校に向けた検討課題は、地元・保護者の要望を尊重して対応すること。
- ❑ 通学安全対策は、関係機関等との連携のもと、万全を期すること。

裏面では4月18日に開催された「醒泉小と淳風小の統合についての報告会」についてお知らせしています。

at school

## 2校合同でみさきの家へ(4年生)

5月22日から24日の2泊3日で、醒泉小と淳風小の4年生が合同でみさきの家に行きました。それに先立ち、5月8日には事前交流を行いました。事前交流で仲良しになった子どもたちは、みさきの家でも賑やかに楽しく活動しました。

今後も様々な機会、2校の交流事業が行われるので、その様子をこの「お知らせ」でも皆さんにご紹介していく予定です。



【京都駅で全員集合】

上【事前交流】 下【磯観察活動】



ご意見やご質問などがありましたら、各学校までお寄せください。

◆ 醒泉小 TEL: 075-351-2917 FAX: 075-351-2920 E-mail: seisen-s@edu.city.kyoto.jp

◆ 淳風小 TEL: 075-351-3800 FAX: 075-351-3878 E-mail: junpu-s@edu.city.kyoto.jp

## 報告会に多数のご出席をいただき、ありがとうございました

4月18日に4学区主催で開催いたしました「醒泉小と淳風小の統合についての報告会」には、100名を超える方々のご出席をいただき、誠にありがとうございました。報告会では教育委員会からの統合に至る経過説明の後、質疑応答があり、地元代表や教育委員会が回答するなど、熱気あふれる会となりました。



### □ 報告会での主な質問

Q 統合協議の中で、難しかった点はどんなことだったのか。

A 統合協議は淳風小の「小規模校問題」と「校舎未耐震化」を解消する、というところから始まった。当初は、統合校は「醒泉小校舎を増築・改修」して使用するという話だったが、教育委員会が校舎全面改築（新築）を再提案。淳風学区では淳風小に建てて欲しいという気持ちはあったが、これからの子どもたちのために「醒泉小敷地で新築校舎での統合校創設」という決断をした。

Q 醒泉小での新築なら、併設されている楊梅幼はどういう扱いになるのか。

A 仮校舎である元格致小は醒泉小、淳風小より敷地面積が小さいため、楊梅幼も一緒に移転してもらうことはできない。醒泉小に建設する新校舎の施設整備については、今後ワークショップ等で意見を聞き、よりよいものにしていきたい。京都市では、27年4月に本格スタートした国の「子ども・子育て支援制度」に沿って施策を充実する方向で検討を進めており、楊梅幼についても新制度にのっとり、今後の幼児教育、保育の在り方を相談して方向性を定めていきたい。今後の検討内容は、ニュース等で周知していきたい。

Q 元格致小にある「つどいの広場」はどうなるのか。

A 元格致小は28年度中に校舎の耐震補強工事、鉄骨造の体育館・特別教室棟の設置工事等を行う。このため28年度から元格致小校舎は使用できなくなる。「つどいの広場」（京都市子育て支援活動いきいきセンター）は保健福祉局の所管ではあるが、地元からも「つどいの広場」の役割が大きいという話は聞いているので、よりよく利用していただけるよう検討している。